



抽象画の父、晩年の集大成
ワシリー・カンディンスキー(1866~1944)

カンディンスキーは、美術史上初となる抽象画を描き、その探究に生涯をささげたことから、^{ちゆうしやうが}抽象画の父と呼ばれています。

ロシア人でありながら、バウハウス（ドイツの総合的造形学校）で教壇に立つなど、ドイツの美術界で高く評価されましたが、ヒトラー率いるナチスから逃れるため、晩年はフランスに亡命し同国で亡くなりました。

本作は、亡命中の1941年の作品で、第二次世界大戦中という厳しい状況下で描かれました。それにしても、何と軽やかで楽しそうな作品でしょう。白い空間に、タイトルにもなった二つの黒い四角形と、階段やパレット、



ワシリー・カンディンスキー《二つの黒》1941年

へ音記号などを連想させるさまざまな形が乱舞しています。思わず画面に引き込まれるような不思議な浮遊感に包まれた空間は、本人いわく「具体芸術」（現実世界と並び立つもう一つ具体的な世界）。これこそが晩年にカンディンスキーがたどり着いた抽象画の集大成です。

小企画展「バウハウスの教育者たちーカンディンスキーとアルバースの版画を中心に」～3月28日（土）

創立100周年を迎えたバウハウスは、1919年にドイツのヴァイマルに開校された、工芸、デザインなどを含む、美術と建築に関する総合的な教育機関です。

同校では、カンディンスキーらの先進的な芸術家たちが指導にあたりました。1933年にナチスにより閉校するまでの14年間という短い間に、次代を切り開く優れた建築家やデザイナーを輩出しました。

100年を経て今なお新鮮な魅力を放つ作品を通して、20世紀のデザインに大きな影響を与えたバウハウスの試みに思いを馳せてみませんか？

「小・中学生の常設展示 無料の日」
 毎月第3日曜日 は、小・中学生は通常150円の常設展を無料でご覧になれます。
 4月19日（日）は、春の所蔵品展と小企画展「動き出す色とカタチ」を、無料で観覧できます。
 5月17日（日）は、春の所蔵品展を無料で観覧できます。



春の所蔵品展 3月17日(火)～5月31日(日)

●展示中の主な作品●	
西洋：油彩画	日本：彫刻
マリ・ローランサン《マドリノのレッスン》1923年	安藤士《忠犬ハチ公》1948年

《忠犬ハチ公》が、美術館エントランス（入口）に移動しました。「おもてなし犬」として来館お待ちしております！

★ **ギャラリートーク** のご案内（作品解説会）
 学芸員が作品について分かりやすく解説します。
 通常は、毎週土曜日（第2土曜を除く）、14:00～15:00 実施します。
 ※ **新型コロナウイルスの感染症対策のため、トークをお休みする場合があります。再開状況については、ホームページや館内掲示をご確認ください。**

第2土曜日の午前 は、美術館 に来ませんか。
学芸員による鑑賞プログラム を提供します。

- 市内の小・中学生は、減免申請書の提出により、常設展を**無料**で観覧できます。
 - 小学校45分（中学校50分）単位で、学芸員と一緒に世界の名作を鑑賞します。
 - 貸切バスの駐車ができるようになりました。（要予約）
- ※ 電話等による **事前予約** が必要です。
 ご不明な点は、お気軽にご相談ください。（学芸係 224-3400）

遠藤彰子展 魂の旅 AKIKO ENDO
 巨大画に広がる一大叙事詩 2020.3.27-5.6

30年以上にわたり大作に挑み続ける作家の1000号(3.3m×5m)を超える巨大な作品群が展示されます！
 うねりのある構図から引き起こされる躍動感やエネルギーの前に立つ時、見る者は絵の中に迷い込んだかのような不思議な感覚に陥ることでしょう。

特集：**カンヴァスに向かう女性たち**
 遠藤彰子展にちなみ、鹿児島出身の女性画家の先駆けである有馬三斗絵、南日本女流美術展で審査等にかかわった春田安喜子ら女性画家による作品を紹介します。

岸田麗子《自画像》1954年

あの《麗子像》で有名な岸田劉生の娘・麗子さんも女流画家となりました。

鑑賞プログラムの活用例

- ・第2土曜の体験学習に対応します。
- ・郷土作家の解説を中心に、郷土学習として活用できます。
- ・学芸員がファシリテーターとなり、子供たちの思考や発想を引き出し、言葉で表現させます。（人数にもよります。）
- ・PTA家庭教育学級等にも対応します。